

I 第6週の発生動向 (2016/2/8~2016/2/14)

- インフルエンザについては、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。八戸保健所、東地方+青森市保健所管内では**警報**が続いています。また、弘前保健所、五所川原保健所、上十三保健所管内では**注意報**が続いています。
- 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で第1週から**警報**が続いています。

II 第6週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科	487	37.46	222	14.80	310	20.67	163	23.29	264	29.33	197	32.83	1643		25.28
小児科	RSウイルス感染症			3	0.33			1	0.20				4	0.10	1	
	咽頭結膜熱			1	0.11	12	1.20	1	0.20	1	0.17		15	0.36	0	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	2.75	21	2.33	35	3.50	1	0.20	5	0.83		84	2.00	29	
	感染性胃腸炎	37	4.63	25	2.78	25	2.50	21	4.20	16	2.67	16	4.00	140	3.33	24
	水痘			1	0.11	4	0.40					3	0.75	8	0.19	-1
	手足口病											1	0.25	1	0.02	-3
	伝染性紅斑	3	0.38			2	0.20			2	0.33	4	1.00	11	0.26	-8
	突発性発しん	3	0.38	2	0.22	5	0.50					1	0.25	11	0.26	-5
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ															-1
眼科	流行性耳下腺炎	10	1.25						5	0.83			15	0.36	-3	
	急性出血性結膜炎														0	
基幹	クラミジア肺炎														0	
	細菌性髄膜炎														0	
	マイコプラズマ肺炎					4	4.00				6	6.00	10	1.67	7	
	無菌性髄膜炎														0	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)								1	1.00			1	0.17	0	

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

- 結核(二類全数把握疾患): むつ1人 (2016年計:30人)
- E型肝炎(四類全数把握疾患): 弘前1人 (2016年計:3人)
- デング熱(四類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2016年計:1人)
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患): 八戸1人 (2016年計:4人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

風しん (五類全数把握疾患)

予防接種が有効です!

風しんは風しんウイルスによる急性熱性発疹性疾患です。流行は春先から初夏にかけて多くみられます。風しんウイルスは患者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつります。一度かかると、大部分の人は生涯風しんにかかることはありません。潜伏期間は2~3週間(平均16日~18日)で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。症状は子供では比較的軽いのですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が2,000人~5,000人に1人位の割合で発生することがあります。また、大人がかかると、発熱や発疹の期間が子供に比べて長く、関節痛がひどいことが多いとされています。

2010年~2015年の報告数の推移を見ると、全国では2011年から増加が顕著で2013年には14344人の発生が報告されました。その後急速に減少し2015年は162人でした。また、本県では2012年に2人、2013年に8人報告されましたが、それ以降報告はありません(表)。

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。これらの障害を先天性風しん症候群といいます。有効な予防法はワクチン接種です。予防接種を受けることによって、妊娠中に風しんにかかることを予防できます。ただし、妊娠中は予防接種を受けることはできません。また、近年は患者の多くが成人男性となっています。男性が風しんにかかると、妊娠中の女性が近くにいた場合、風しんをうつし、生まれてくる赤ちゃんが先天性風しん症候群と診断される可能性があります。成人男性でも、これまで予防接種を受けたことがない場合は、早く接種を受けるようにしてください。

小児の場合、定期予防接種は1歳児(第1期)及び小学校入学前1年間の幼児(第2期)に原則として、麻しん風しん混合(MR)ワクチンが接種されます。お住まいの市町村予防接種担当課にお問い合わせください。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

表: 報告数の推移
(2010年~2015年)

	全国(人)	青森県(人)
2010年	87	0
2011年	378	0
2012年	2386	2
2013年	14344	8
2014年	319	0
2015年	162	0

V 県内インフルエンザ情報

第6週の患者報告数は1643人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1603人【A型：1471人、B型：132人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点
 (※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6
保健所名														
東地方					2					4	2	7	5	6
弘前			1			1	8	9	32	62	194	195	212	222
八戸							2	3	37	217	396	490	399	310
五所川原								6	14	38	84	84	125	163
上十三		1			1			1	16	35	89	178	232	264
むつ						2	11	2	6	24	40	86	159	197
青森市					1	5	23	14	37	83	264	328	455	481
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6
保健所名														
東地方					1					4	2	7	5	6
弘前			1			1	8	9	32	61	193	194	208	218
八戸							2	3	34	215	377	467	354	282
五所川原								6	14	37	84	82	125	160
上十三		1			1			1	14	34	80	159	202	208
むつ						2	11	2	6	22	36	60	98	144
青森市					1	5	23	12	37	82	252	307	422	453
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6
保健所名														
東地方					1									
弘前										1	1	1	4	4
八戸									3		6	10	10	10
五所川原												2		3
上十三									2	1	8	16	22	46
むつ										2	4	26	61	53
青森市								2		1	6	9	11	16
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108	132

年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6
～5ヶ月											3	3	5	7
～11ヶ月									4	7	13	12	26	35
1歳							1	2	5	23	47	77	82	75
2歳							1	4	3	16	47	65	89	78
3歳							1	1	1	17	50	73	90	80
4歳								1	8	25	63	116	94	94
5歳							1	2	5	23	76	122	89	111
6歳							1	1	3	29	70	96	107	101
7歳					1	2	6	1		13	72	72	103	101
8歳							4	1	3	14	66	55	87	54
9歳						1	3		2	7	58	64	79	59
10～14歳					2		4	1	4	29	99	145	220	201
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42	51	64	68
20～29歳							1	2	10	35	39	48	57	78
30～39歳		1					3	6	20	47	68	95	105	157
40～49歳						1	4	3	18	60	92	103	104	116
50～59歳							2	2	22	45	65	71	87	91
60～69歳							1	3	18	32	58	61	57	80
70～79歳			1					1	5	14	27	26	27	33
80歳以上								1	2	9	14	13	15	24

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第49週～2016年第6週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全症候群1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人					
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第49週～2016年第6週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1	1	1	1	1	
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14						1

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 ※全国分についてはこれまで前々週の累計を掲載していましたが、来週から前週の累計を掲載することとします。

(2016年第1週～第4週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	回腸熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	
累積報告数	1438	9	58	5	2	30	19	1	1	29	23	1	86	1	95	18	111	59	16	44	101	5	30	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クラブコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症														
累積報告数	5	250	26	247	11	6	3	6	1	1														

(2016年第1週～第5週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回腸熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	
累積報告数	1890	12	71	7	2	40	25	1	1	1	29	30	1	2	108	1	126	21	133	91	21	58	119	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性髄膜炎感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クラブコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症												
累積報告数	7	33	5	302	31	308	12	6	4	7	1	3												

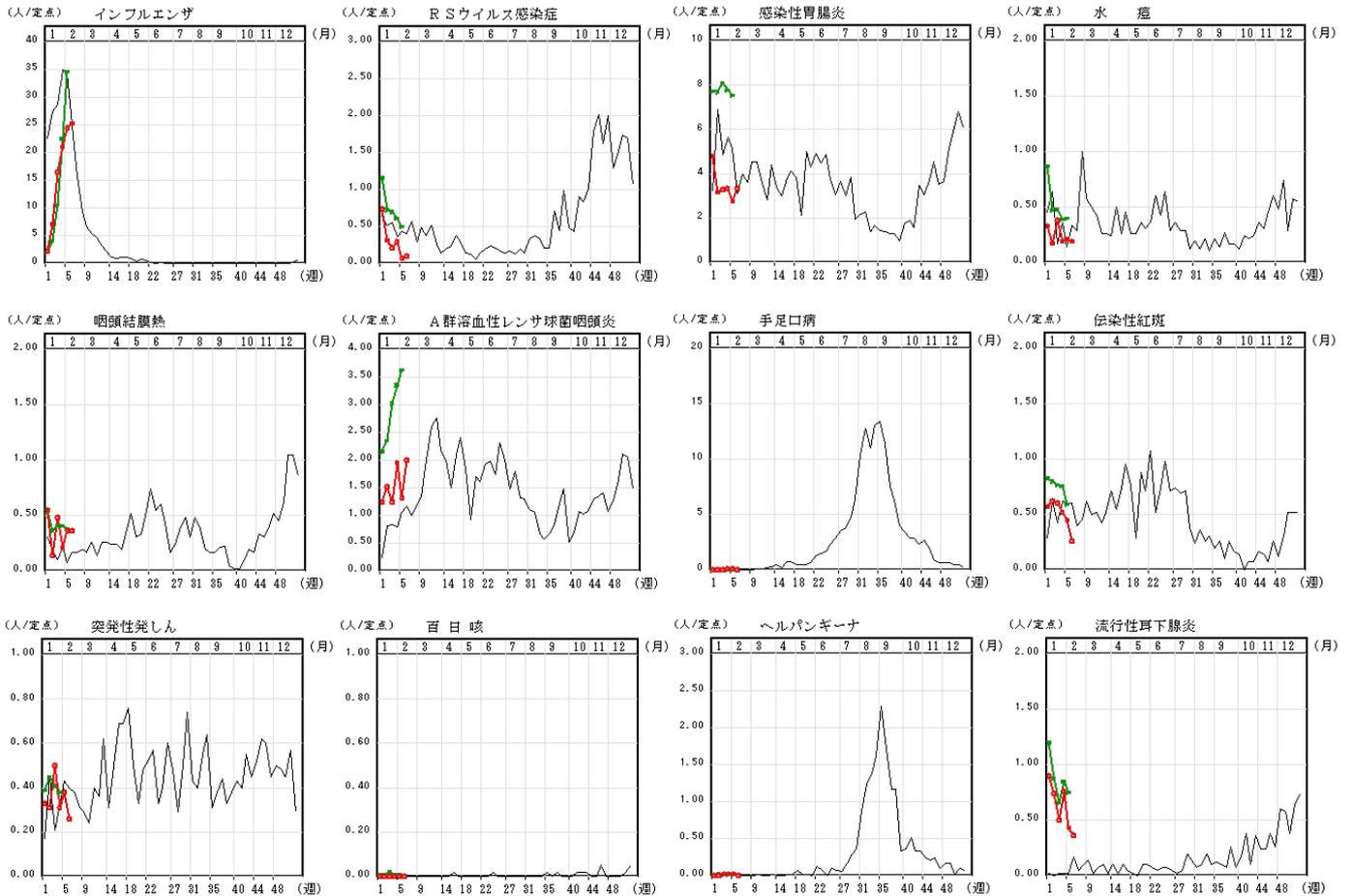
青森県

(2016年第1週～第6週累計)

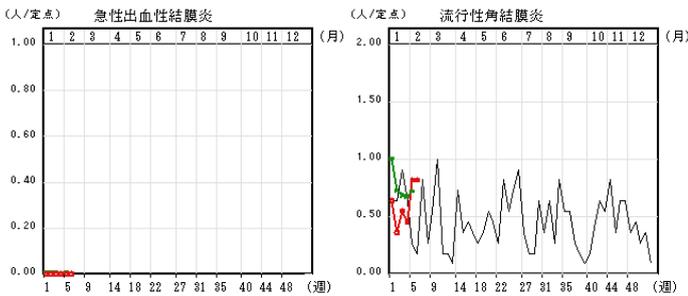
分類	二類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	水痘(入院例)
累積報告数	30	3	1	1	1	4	1	1	

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第6週、但し全国は前週)

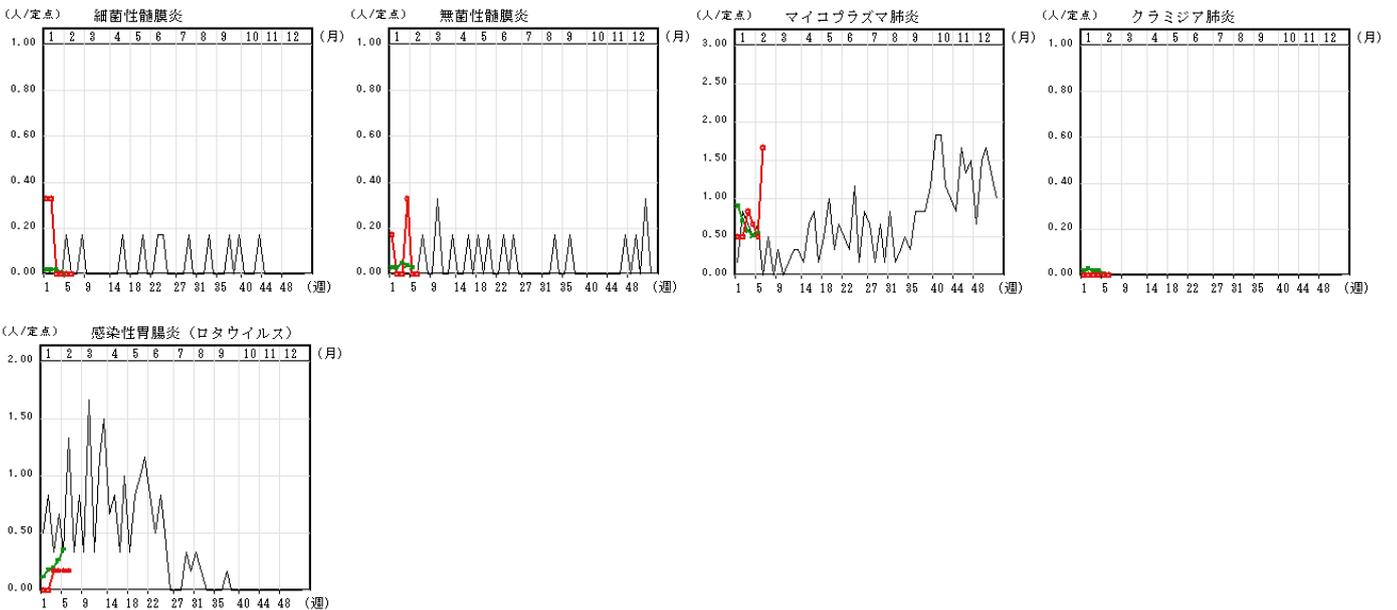
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第6週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第6週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第6週は報告がありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		計 (施設別)
		1-4週	5週	6週	6週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0		1
	発症者数	0	19	0		19
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0		0
	発症者数	0	0	0		0
障害関係施設	件数	0	0	0		0
	発症者数	0	0	0		0
その他施設	件数	0	0	0		0
	発症者数	0	0	0		0
計(月別)	件数	0	1	0		1
	発症者数	0	19	0		19